

首都圏の管理会社数十社  
とリクルート社で構成する  
「211C住環境研究会」が  
定期的に行っている情報交  
換会に加え、構成会社の管  
理物件入居者と物件を探し  
ている顧客に対して3年ご  
とに行うアンケート調査の  
最新版がリリースされた。

# CFネット流 稼

問取りや設備、色彩・デ  
ザインといった賃貸住宅の  
建築・リフォームなどを企  
画すると客に知りたい消費  
者の好みをはじめ、消費者  
はそのように物件を探して  
いるのか、何が決め手にな  
ったのかといった広告やマ  
ーケティングを行っている。

## 第6回首都圏賃貸住宅ニーズ調査 72

示唆に富んだ調査結果が、  
具体的に数値化され示され  
ている貴重な第1次資料で  
ある。

前回調査より調査委員と  
して設問の作成や分析にか  
かわった。調査は、毎回設  
問を逐次更新しトレンドをつ  
かんだり、時代に合わせた  
設問を加えたりといった工

写真、近くにあるスーパー  
やコンビニの情報、室内各  
所の寸法となっている。エ  
コ設備で「知っている」欲  
しい「ベスト3はLED照  
明、断熱サッシ、窓の遮熱  
フィルム。逆に太陽熱温水  
器や太陽光発電などは下位  
に位置している。  
あるいは、ワンルームタ  
イ別を選択・提案するベ  
きだと考えられるのだが、  
今回はさらに狭いプランの  
場合に消費者はどのような選  
択をするのかを調べる設問  
も新たに設定した。

### 狭くても8割「バス・トイレ別」

#### 9割がネット情報で物件絞り込み

夫が行われている。  
例えば「ネット上の情報  
だけでは住みたい部屋をほ  
ぼ絞り込むことはできな  
い」という回答はわずか8  
・8%。いかに、ネット上  
の情報を充実させることが  
弊業上重要かというところが  
わかる。

一方でA「6畳＋バス・ト  
イレ別」かB「7・6畳＋  
3点ユニットバス」のどち  
らを優先かという設問は毎  
回設定しており、Aを選択  
する人が前回調査76・7%、  
今回調査でも83・1%と庄  
調的な支持を得ている。  
したがって、賃貸住宅を  
改修・建築する場合には居  
室は多少狭くてもバス・ト  
イレ別を優先する傾向が  
強まっている。



また、この調査に関する  
セミナー開催予定について  
は、CFネットホームページ  
「http://www.cfnets.co  
jp/」の「確認ください」  
タブをクリックしてください。  
（この調査は、CFネットの  
調査員が実施しています）  
CFネットは、賃貸住宅の  
市場をリードする企業です。  
最新の市場動向や消費者の  
ニーズを把握し、賃貸住宅  
の質を向上させるために、  
様々な調査を行っています。  
お問い合わせ先は、CFネット  
のホームページをご覧ください。  
（この調査は、CFネットの  
調査員が実施しています）

CFネットは、賃貸住宅の市場をリードする企業です。最新の市場動向や消費者のニーズを把握し、賃貸住宅の質を向上させるために、様々な調査を行っています。お問い合わせ先は、CFネットのホームページをご覧ください。（この調査は、CFネットの調査員が実施しています）